

	次代を担う若人	久留米市立筑邦西中学校
	<h1>筑 西</h1>	学校だより 5-8号
		令和5年 7月 7日
		文責 校長 古賀 一英

がんばりました！市内中体連夏季大会！

大雨の影響で日程の変更等もありましたが、各部活動の部員たちは、一生懸命に頑張ることができていました。これまで、日々の練習も葛藤の連続だったことと思います。結果は、残酷なもので、努力や思いの大きさが報われないことも多々あります。しかし、大切なことは、様々なことを乗り越え頑張ったプロセスだと思います。保護者の方々にはそのことを踏まえ褒めていただき、生徒たちにはそのような環境を作ってくれた家族や顧問の先生方への感謝の気持ちをもっていただければと思います。

中体連市内大会の結果→地区大会出場	
野球部	3位
男子ソフトテニス部	団体3位
女子ソフトテニス部	団体3位 個人2位手島美咲(3-3)・福井望心(3-1)ペア
女子バスケットボール部	準優勝
剣道部	女子団体3位 女子個人12位敷島仁美(2-3)
サッカー部	5位
女子バレーボール部	4位
男子卓球部	男子個人2位松本昇大(3-2)
新体操部	安達 陽(2-4) 総合2位 リボン1位 フープ3位
バドミントン部	男子個人5位 龍 陽光(2-3)

図書館が充実していますよ！

本校の図書室は貸し出し冊数が増加し、生徒たちの不読率が低くなってきています。その要因は、図書委員会の取組の充実や学校図書司書の水島さんの様々な工夫のおかげです。図書委員会は、定期的に「おみくじイベント」や「読書ウィーク」等、本に親しむ取り組みを行っています。また、図書室のマナー向上にも努め、だれもが落ち着いて過ごせる図書室になるようにしています。学校図書司書の水島さんも、図書室内の環境を整備し、夏休み読書感想文や人権作文に適した本を紹介するコーナーを設置するなどの工夫をしています。読書は心の成長にも良い影響を与えます。お子様と本を読むことについて話す機会を作ってみてください。



6月23日「慰霊の日」～令和5年度沖縄全戦没者追悼式～

「慰霊の日」は、太平洋戦争の末期である1945年に、日本軍と、沖縄諸島に上陸したアメリカ軍を主体とする連合軍との間で行われた戦いが、組織的に終結をした「6月23日」を沖縄県が独自に制定した日です。沖縄戦では、連合軍と日本軍を合わせて20万人以上の犠牲者が出たといわれています。そのうち、一般の犠牲者は推計で約10万人です。沖縄県民の4人に1人が命を落とした壮絶な戦いで、甚大な被害がありました。それから78年の歳月が過ぎ、この経験をした方々もずいぶん高齢になってきました。戦争が最大の人権侵害であることは、中学生も十分に理解をしていることと思いますが、その時の苦しみや悲しみをしっかり感じることはなかなか難しいことです。

今、世界に目を向けるとロシアがウクライナに侵攻を続け、戦争の終結はまだ見えない状況があります。日々のニュースでウクライナの建物が攻撃を受ける映像が流れてきますが、なぜこのようなことが起きるのか理解することはできません。

本校では、夏休みの出校日に平和学習を毎年行っています。今年も平和であることの大切さや戦争のことについて考えてもらうことにしています。保護者の方々からもお子様に戦争や平和のことについて話す機会をもつていただくようお願いします。

下記に、沖縄全戦没者追悼式で朗読をされた、那覇市にある通信制の私立つくば開成国際高校3年生平安名 秋さんの「今、平和は問いかける」という詩を紹介します。

沖縄県平和祈念資料館 ホームページ

平和の発言（児童・生徒の平和メッセージ）

令和5年 詩部門 高校の部 最優秀作品

[私立つくば開成国際高校3年生 平安名 秋さん「今、平和は問いかける」](http://www.peace-museum.okinawa.jp/heiwigakusyu/hassin/message/r5/shi/saiyuushu%20koukou%20heianna.pdf)

↑クリックすると詩が掲載されているWebページが表示されます。

(URL : <http://www.peace-museum.okinawa.jp/heiwigakusyu/hassin/message/r5/shi/saiyuushu%20koukou%20heianna.pdf>)